

第4回上田地域別部会における意見に対する対応について

資料2 - 1

No.	意見カテゴリ	発言者	意見内容	事務局対応方針（案）
1	拠点の設定（資料4）	上田バス	・一概に観光地だからといって地域拠点から外すのはどうなのか。再考いただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域拠点」は77市町村の中心に加え、高校、スーパー、医療機関のうち2つ以上が立地していること、流動調査からある程度滞留が見られること、ターミナル機能を持つこと等を勘案して設定しています。 ・「地域拠点」はあくまで交通結節点とし、観光地は別で整理するものとなりました。
2	その他	千曲バス	・人材不足が課題とある中で、検討して具体的に何をしようとしているのか。また、路線バスの収益が黒字にならない中で、路線バスを持たない会社の方が元気になっている状態。このような点も踏まえて計画・スケジュールを策定してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足は計画素案P34「地域公共交通を取り巻く現状と課題の整理」の中で触れている通り、県全体で対応が必要な事項と認識しており、対策を検討しております。 ・具体的な施策については、各協会とも意見交換を行いながら効果的な方策を検討してまいります。
3	その他	東信観光バス	・上田市、佐久市や立科町など市町村間でも考え方の温度差があると思う。県で地域間の調整を十分にしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村や事業者の皆様から頂くご意見を踏まえ、計画における地域間での整合性が取れるよう調整してまいります。
4	地域公共交通の課題（資料3）	上田電鉄	・どこに移動ニーズがあるのか、どう取り込むのか等に触れてもよいのではないかと。	<ul style="list-style-type: none"> ・人口流動調査を参考にし、移動ニーズが多いと思われる箇所を拠点とするとともに、拠点間を結ぶ軸を設定しています。
5	拠点の設定（資料3）	東御市	・東御市の計画の中で、北御牧庁舎は交流機能を備えた拠点として盛り込んだ。また、東部湯の丸IC周辺は広域交通と接続し、地域観光を支援する拠点として盛り込んでいる。県の計画でも拠点として検討してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域拠点」は77市町村の中心に加え、高校、スーパー、医療機関のうち2つ以上が立地していること、流動調査からある程度滞留が見られること、ターミナル機能を持つこと等を勘案して設定しています。 ・3つのバス路線（久保通・八重原・御牧原）のターミナル機能を持つ北御牧庁舎を残しました。
6	拠点の設定（資料3）	青木村	・青木村内の主な観光地を入れさせていただいた（道の駅あおき、大宝寺、田沢温泉、沓掛温泉）。ご検討いただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地を拠点として設定することについて前回の地域別部会で複数地域からご意見として挙がっていましたが、「地域拠点」はあくまで交通結節点とし、観光地は別で整理するものとなりました。 ・上記に関連して、上田市の地域拠点で追加要望されたうち、地域間連携軸に位置付ける中仙道線起点の大屋駅のみ残りました。 ・上田市及び長和町の観光地についての考え方は上記のとおりです。

第4回上田地域別部会における意見に対する対応について

No.	意見カテゴリ	発言者	意見内容	事務局対応方針(案)
7	軸の設定(資料3)	上田バス	・塩田線は運行本数が少ないので地域間連携軸から落とされたと思うが、再考してほしい。(運行ルートは別所線が通らないところを補完するもので、塩田地域自治センターなど追加で挙げた地域拠点も通る経路的には良い路線。)	・県計画で扱う「軸」としては、一定の輸送力が必要であり、かつ不特定多数に広く開かれたものであることが必要という観点から、「平成の大合併前の市町村界を跨ぐ」「1日3往復以上」「定時定路線」「通年運行」を基準としています。 ・塩田線は基準を満たさないため記載していません。
8	地域公共交通の概況(資料3)	上田バス	・運賃低減制度に関する記載について、割引分を上田市・青木村のみが補填しているような書きぶりになっているため、訂正していただきたい。	・上田地域編P1 2-2 地域公共交通の概況 「利用者負担額に上限を設け、制度を導入している上田市・青木村と事業者が、従来運賃との差額分を応分負担する仕組みで～」に修正しました。
9	地域公共交通の課題(資料3)	JRバス関東	・「和田峠北線は運行本数が少ない」と記載があるが、現状では本数を増やしたからといって乗客数が増えるわけでもなく、課題となっている。	・上田地域の公共交通の課題として関係者が共有し、今後の地域別部会等で議論を深めていければと思います。
10	将来ネットワークA~D(資料3)	上田電鉄	・C軸(圏域内連携軸)についても喝を入れるような利用促進について触れてほしい。	・上田地域編4P【圏域内連携軸】 「～同路線は地域内の主要な観光地でもある別所温泉を結ぶ軸となるだけでなく、沿線住民の日常移動を支える重要な路線となっています。その維持を図るため、運行事業者や別所線活性化協議会とも連携し、路線の活性化、利用促進に取り組んでいくものとします。」に修正しました。
11	地域公共交通の概況(資料3)	上田市管理課	・「北陸新幹線が縦貫しており・・・」とあるが、「東西に横断しており」や「往還しており」とすべき。	・該当部を「北陸新幹線が地域の南東から北西に向けて走っており、」に修正しました。
12	将来ネットワークA~D(資料3)	上田市管理課	・地域公共交通の将来ネットワークにおけるしなの鉄道に係る記載で、「運行事業者が沿線市町村とも連携し、～」とあるが、沿線に村がないので「市町」とすべき。	・該当部を「運行事業者が沿線市町とも連携し、」に修正しました。